

# 消防署で上級救命講習

## ダイワコーポ 自社むけカスタマイズ

ダイワコーポレーション（菅根和光社長、東京都品川区）は11月30日、横浜市中心消防局中消防署で10月20日に、同社向けにカスタマイズされた上級救命講習を受講した、と発表した。

同署管内に四つの物流拠点をもち、管内の消防団員から「訓練の場が不足している」との相談を受け、2007年から横浜本牧第2営業所（中区）の敷地を災害対応訓練の定期的な開催

地として提供している。この取り組みが認められ、



同署によるカスタマイズ講習を受けることとなった。

講習では、小児・乳児の心肺蘇生法や負傷者の外傷の手当てなど通常の講習内容に加え、物流サービスでの救急対応や過去の事例を含めた防火・防災といった、物流業務に関係した内容を学んだ。  
ダイワコーポからは23人

通常の内容に加え、物流サービスにおける救急対応や防火・防災などを学ぶ

が参加。参加者から「倉庫内で起こり得る事例から解決策を考えることで、具体的にイメージができた」「いざという時に行動する自覚が醸成された」という声があった。

ダイワコーポでは「職場での安全確保と緊急時の対応力向上を目的として、災害や予期せぬ事故、倉庫内でのトラブルが発生した際に冷静かつ迅速な対応ができるよう、全社員対象に上級救命講習の受講を奨励している。今後も継続的に受講し、安全と防災体制の更なる強化につなげていく」としている。（吉田英行）